

レジメン名	CDDP + PEM + キイトルーダ
対象疾患名	非小細胞肺癌
1クールの日数	21日
催吐性リスク	高度
その他注意事項	

No	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	アロキシ注 デキサート注	0.75mg 50mL 9.9mg	点滴静注	15分	day 1
2	生食 キイトルーダ注	100mL 200mg		30分	
3	生食	50mL		5分	
4	生食 硫酸Mg	500mL 10mEq		1時間	
5	アクチット フロセミド注	500mL 20mg		1時間	
6	生食 アリムタ(PEM)注	100mL 500mg/m ²		10分	
7	生食	50mL		5分	
8	生食 シスプラチン(CDDP)注	500mL 75mg/m ²		1時間	
9	生食	500mL		1時間	
10	ソルラクト	500mL		1時間	
11	アクチット	500mL	1時間		
12	アプレピタントCap	125mg 1C	内服	投与前	day 1
13	アプレピタントCap	80mg 1C		投与翌日	day 2, 3
14	デカドロン錠	4mg 2T/朝昼			day 2-4

【化学療法による主な副作用】 悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、便秘、倦怠感、口内炎、発疹、骨髄抑制、腎障害、浮腫、電解質異常、神経障害(末梢神経障害、聴力障害)

【免疫療法による主な副作用】 間質性肺炎、大腸炎、肝障害、腎障害、皮膚障害、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、1型糖尿病、重症筋無力症、神経障害、Infusion reaction

【その他注意事項】

- CDDP: 腎障害予防として、飲水指導を実施(OS-1推奨)。
- PEM: 治療開始7日前より葉酸0.5mgを1日1回連日経口投与、ビタミンB12を1回1mg筋注する(9週間に1回)。NSAIDsや腎毒性を有する薬剤または腎排泄型薬剤と薬物相互作用あり(作用増強の可能性あり)。
- キイトルーダ: 施行前に必要な検査を行う。胸部XP、心電図、造影CT検査も実施する。ルーチンの採血検査 + 以下の検査を1~3ヶ月ごとに施行する。
- 間質性肺炎: KL-6 SP-D 胸部CT
- 甲状腺機能障害: TSH FT4 FT3
- 下垂体機能障害・副腎不全: ACTH コルチゾール
- 1型糖尿病: 血糖 HbA1c C-ペプチド
- 大腸炎: 内視鏡検査 造影CT
- 肝障害: エコー 造影CT